

高信頼性ICタグ

周波数帯とRFID

本来、周波数選択は大変重要な役割をもっています。イージス艦がSバンド選んでいるのも多くの検討過程がありました。といっても「光り玉」はどのような周波数でも対応できると断言できます。

スイカなどは13.56MHzですが、「パウダーチップ」では2.45GHzです。この違いはアプリによります。決してそのときの偶然で決めていることはありません。

いろいろなシステムが高周波を扱っています。でも、なるべく、周波数がある方がユーザにとっていろいろな利便性があります。あまり混んでいる周波数は使わないほうがよいです。UHF帯は原子力プラントでは使わないほうがよいです。その周波数に近い動作の装置が多いからです。

(株)R&Vはお客様の立場で考えていきます。決してこれしかありませんというソリューションのご提案をすることはありません。よい周波数帯とRFIDをいつも(株)R&Vは考えていきます。